

プラン名 互いに関わり合いながら読解力UP！（目標80%）

12か条+（プラス）6条

よりよい解決のための質の高い学び合いのプロセスの重視

1 授業づくり

(1) 現状・課題（**R**）

課題	現状（科学的データ）
語彙力・読解力が身についていない。そのため、考えを広げたり深めたりする話し合いができない。	・国語科評価問題③三「答えとして適切なものを選択する。」無回答0% 正答率35.9%（12月）→45.0%（2月） [要因] ・資料を読み取り、問いに合う適切な文を選択できない。

(2) 計画と実行（**P・D**）

前期目標	具体的取組	
協力し、考えを広げたり、深めたりすることにつながる話し合いができる。	・児童が具体的にイメージできるゴールを設定する。 ・児童と共に単元計画を作成する。 ・単元計画の中にペアやグループで考えを広げたり深めたりする活動を位置づける。 ・児童が考えたくなる問いを意識し、授業を構成する。	
評価項目		評価（結果）
・参観シート	「問いの工夫」「授業のねらい」	98.5%○
・児童アンケート	友だちと話し合って、考えがよりはっきりしたり、分からなかったことが分かるようになったりした。	88%○
・職員アンケート	問いの工夫で児童の考えが深まった。	61%△

(2) 検証と改善策（**C・A**）

月	評価項目（誰が、いつ）	結果	改善策
4	□今年度の学習のめあてを児童と確認する。（学担）⇒6月		
5	□児童アンケート（月末） □職員アンケート（月末）		
6	□検証シート⇒7月（研究授業） □児童アンケート（月末） □職員アンケート（月末）	84.4%○ 58%△	・児童と共に作成した単元計画を掲示し学習の足跡を残していく。 ・話し方、聴き方を指導する。（話し方・聴き方の掲示の活用）
7	□検証シート（6年研究授業） □児童アンケート（月末） □職員アンケート（月末）	100%○ 89%○ 44%△	・話し合いの目的や内容を明確にする。 ・問い返す、言葉を返すトレーニングをする。 ・話す内容が伝わるようにツールで視覚化する。
8	□検証シート（4年研究授業） □児童アンケート（月末） □職員アンケート（月末）	97%○ 90.7%○ 75%△	・話し合いの前にモデルを示し、イメージをもたせる。

2 基盤づくり

前期目標	具体的取組	評価
言葉の意味を理解することができ。話し合いに必要な問いかけができる。	・言葉の意味を問い返し、関わり合わせる。 ・国語辞典を本バックに入れておき、いつでも調べられるようにする。 ・「Let's Try」（用語、既習内容、資料の見方・考え方、児童の考えの手がかりを示すもの）の活用し、自分の考えをもたせる。 ・話し合いカードを活用する。	94.7%○ 75%○ 83.3%○ 20%△

プラン名 互いに関わり合いながら読解力UP！（目標 80%）

1 授業づくり

12 か条+（プラス）6条

よりよい解決のための質の高い学び合いのプロセスの重視

(1) 現状・課題 **(R)**

課題	現状（科学的データ）
自分の考えをもつことができても、考えを広げたり、深めたりする話し合いができない。	・児童アンケートでは、「友だちと話し合って、考えがよりはっきりしたり、分からなかったことが分かるようになったりした」と回答した児童の割合は、全体の 88%だが、職員アンケートの「問いの工夫で児童の考えが深まった」と回答した職員の割合は 61%であった。 ・研究授業では、互いに自分の考えを話すことはできたが、考えを広げたり深めたりする話し合いには至らなかった。 [要因] ・何を話し合わせるのか、具体的なイメージをもって指導できていない。 ・友達の考えに言葉を返すことができない。

(2) 計画と実行 **(P・D)**

中期目標	具体的取組	
協力し、考えを広げたり、深めたりすることにつながる話し合いができる。	・児童が具体的にイメージできるゴールを設定する。 ・児童と共に単元計画を作成する。 ・単元計画の中にペアやグループで考えを広げたり深めたりする活動を位置づける。 ・児童が考えたくなる問いを工夫する。 ・話し合いの目的や内容を具体的にもつ。 ・話し合いのイメージをもたせるためにモデルを提示する。	
評価項目		評価（結果）
・参観シート	「問いの工夫」「授業のねらい」	
・児童アンケート	友だちと話し合って、考えがよりはっきりしたり、分からなかったことが分かるようになったりした。	
・職員アンケート	問いの工夫で児童の考えが深まった。	

(2) 検証と改善策 **(C・A)**

月	評価項目（誰が、いつ）	結果	改善策
9	☐ 検証シート（研究授業） ☐ 児童アンケート（月末） ☐ 職員アンケート（月末）		
10	☐ 検証シート（研究授業） ☐ 児童アンケート（月末） ☐ 職員アンケート（月末）		
11	☐ 検証シート（研究授業） ☐ 児童アンケート（月末） ☐ 職員アンケート（月末）		
12	☐ 検証シート（研究授業） ☐ 児童アンケート（月末） ☐ 職員アンケート（月末）		

2 基盤づくり

中期目標	具体的取組	評価
言葉の意味を理解することができる。 話し合いに必要な問いかけができる。	・言葉の意味を問い返し、関わり合わせる。 ・国語辞典を本バックに入れておき、いつでも調べられるようにする。 ・「Let's Try」（用語、既習内容、資料の見方・考え方、児童の考えの手がかりを示すもの）の活用し、自分の考えをもたせる。 ・話し合いカードを活用する。 ・話す・聴くスキルトレーニングをする。（リテラシータイム）	

